

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年 3月25日

事業所名 児童デイサービスセンターみどり

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	1		支援するにあたりスペースは十分確保できている。	
	2	職員の配置数は適切である	1	2			支援充実また職員の負担を軽減する為にも増員必要と考えている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	2			今のところ、対象児は居ないがトイレ・風呂場がバリアフリーになっていない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	1	1	個別支援計画、ケース会議等	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	2		アンケートや担当者会議の中で意向を把握する。	意向確認しながら、会議を通じ検討している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3			公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		2	1	外部からのアドバイザーを招き改善などに繋げている	今年度は感染症対策もあり、あまり活用出来なかった。次年度の状況にもよるが積極的に活用したい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	1		外部講師を招き事業所内研修を実施していきます。	施設内研修をはじめ外部研修会(ウェブ)へ参加しスキルアップ図っている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	1	2		保護者・相談員から汲取っている。	必要に応じて再アセスメントを適切に行い支援に繋げている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		3			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている		3		会議で検討	個別でプログラムを設定し日課に組み込んでいる。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している		3			制作活動や運動面を工夫しながら組み入れる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	2			休日にしか出来ない時間を要するプログラムを設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		3		子どもの状況に応じて個別・集団活動を組み合わせて計画を作成しています	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	2		朝ミーティング等で確認	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		3			支援終了後は時間設定をすることが難しい為、翌日のミーティング等で振り返りを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		3			必要に応じてケース会議を実施し、子供の状況について検証する様にしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	2	1		半年ごとに保護者と面談を実施しながら評価を行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	1	2			基本的事項の再確認必要。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	1	担当職員が出席し情報共有を行っています。	会議の内容を記録に残し、職員会議等で報告し全員の共通理解を図っています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2	1	学校の年間計画や行事予定などは適宜提供し、連絡調整等は送迎時や連絡帳・電話にて行っています。	必要に応じて電話や訪問等を行い情報供給を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1		現在該当者なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		2	1		対象となる児童の受け入れは無い
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	1	事業所と情報共有している		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2		研修等、参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		2	1		地域の祭りで交流はあるも、機会はほとんど無い。今年度は感染症対策で実施できてない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	1	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	1	2			送迎時間等を利用し、一日の様子や気になる事を保護者と話し合っています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			3		職員がベアトレのスキルアップを行い、保護者へも支援できるよう研修等の参加を増やす。また、講演会等情報提供も行っている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1	2	利用契約の際、又、必要に応じて丁寧に説明を行っています。		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	1	2	随時相談を受け付け、助言や支援を行っています。		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		1	2		保護者会の開催を検討したいが、なかなか保護者の都合が取れない現状
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	1	2			苦情受付窓口を設け、いつでも対応できるようにしているが、周知が不十分。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	1			子供達の様子をホームページを通して発信しているが、定期的には行えていない。
	35	個人情報に十分注意している	3				漏洩等が無いよう気を付けている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	1	2			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			3		事業所の祭りを開催しているが、今年度は実施控えた。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		3		職員間は周知しているが、保護者への周知が不十分。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	2	避難訓練を実施している。	定期的実施される法人内の避難訓練に参加。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	1	研修会・会議等で周知している。	施設内外での虐待防止研修に参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	1	虐待や身体拘束について研修会等で共通認識図っている。	現在該当者なし
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3		保護者からの情報をもとに行っている。	食事やおやつ等は別メニューを提供
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		行っている。	迅速な対応心掛け、その都度、共有図っている。